

小島鉄工所 SDGs通信 VER.3

【活動報告】



2023年3月

SDGsPJ :

川本芳孝・小島広大・中村友理佳



2022年10月8日(土)
常滑事業所付近の海岸にて
プロギングを行いました!!
土曜日開催にも関わらず多くの方に
ご参加いただき、楽しく、
ゴミ拾いを行うことができました。
次回は春頃開催予定ですので、
是非またご参加ください!

全社で集めているペットボトルキャップを
計9kg (キャップ3870個分)
株式会社三四四様へ寄付致しました。

ペットボトルキャップ1kg=1円となり
寄付金がワクチンに換わり、世界の子ども
たちに届きます。少しでも多くの子供たち
へワクチンが届くよう、今後もペットボ
トルキャップ回収活動を続けていきましょう



常滑工場
太陽光年間発電量：114518.3KWh
CO₂削減量：46494.35Kg

杉の木に換算すると、、、
276.75本分
のCO₂削減効果となりました。



今回は『SDGsの達成にむけて私たちができること』をテーマに、
SDGs達成度ランキング1位を誇るスウェーデンの取り組みをご紹介します。

スウェーデンでは、政府が積極的にSDGsに取り組んでおり、2016年6月に、
『2030年までにエネルギー効率を50%高め、2040年までに発電すべてに再生可能
エネルギーを用いるという目標を設定しました。』
さらに、2045年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにしています。

【スウェーデン3つの原則】

スウェーデンではSDGsの目標に基づく3つの原則があり、
教育や企業活動、法律などがこれに沿って整備されています。

・自然にかえせる量の資源しか取らない

人間はあくまで環境の一部であり、資源はあくまで自然にかえせるものを必要な量しか取ら
ないという考え方です。例えば、木材にするための木を伐採したら植樹をする、
魚を捕るなら必要最小限にして数が減らないように環境を整えるなどです。

・地下より地上のエネルギーを選ぶ

地下にある石炭や石油などの資源は、再生に数百万年の時間を要するため現実的に再生が
難しいものです。このため地上にある太陽の光や風、波といった再生可能エネルギーを
使う社会にしていこうという意識です。

・生物の多様性を保護する

すべての生物にはそれぞれに役割があり、人間も含めて地球上の生物はつながって
生きています。そのため食材を始め多くの資源が地球上の生物の恩恵を受けていることは
明らかで、生命全体を守っていくべきという意識です。

【ごみを100種類にも分別】

SDGsにおける気候変動への具体策として、スウェーデン政府はごみの削減とCO₂の排出を抑制
へ向けて、ごみの分別を100種類に分け、家庭ごみの99%をリサイクルやエネルギー源
としています。

各種容器はデポジット制を取り入れており、回収施設も充実させることで徹底した取り組み
を行っています。

【ジェンダーレスへの取り組み】

SDGsの目標の1つでもある、ジェンダー平等への取り組みにも力を入れています。
スウェーデン政府の大臣はおよそ半数が女性であり、さらに男女平等大臣という役職も設
けられ、それを担っているのも女性大臣です。また、LGBTに対する偏見が生まれないう、
同性カップルを扱った内容が教育カリキュラムに組み込まれています。

今回はスウェーデンの取り組みについて紹介しました!!